

やまのいもの栽培法

1. 試験のねらい

やまのいもの栽培法を確立するため、優良系統の選抜、種芋の大きさと栽植密度、植付時期及び施肥法が収量・品質に及ぼす影響について検討した。

2. 試験方法

優良系統の選抜は、短首系2系統、中首系7系統、長首系2系統を露地及び雨よけ条件下で行った。また、選抜した有望系統を用いて、種芋の大きさ(20、40、80g)と栽植密度(株間10、15、20、25、30cm)、植付時期(4/15、4/26、5/6、5/17、5/28)と種芋の大きさ(20、40、80g)、肥料の種類(LPコート140日、スーパーIB、CDU、現地慣行)と施肥法(全量基肥と基肥+追肥)が生育・収量・品質に及ぼす影響を調査した。

3. 試験結果および考察

- (1) やまのいもの優良系統は、芋の形状・揃いや収量性などから、中首系のNo.8を有望系統として選抜した(表-1)。
- (2) 種芋の大きさについては、小さい種芋では肥大率は優れたが、生産芋重は小さいのに対して、種芋が大きくなるに従い生産芋重は大きくなり、収量は80g区が多収となった。
栽植密度は、株間が広いほど生産芋重は大きくなる傾向を示したが、単位面積当りの収量は密植ほど多収となり、種芋80gで株間20cm区が最も多収であった(表-2)。
- (3) 植付時期が早いほど萌芽日数は長くなるものの萌芽期は早く、植付時期が遅くなるに従い遅くなった。芋の肥大は植付時期が早いほど優れ、遅くなるに従い劣り、適期は4月下旬から5月上旬と思われた(表-3)。
- (4) 肥料の種類では、スーパーIB、LPコート140日が生産芋重は多く、CDU及び現地慣行より多収となり、緩効性肥料を用いた全量基肥施肥とすることによって省力的で肥効が安定し、良品多収が期待できると思われた(表-4)。
- (5) これらのことから、やまのいもの優良系統はNo.8が最も優れ、栽培法については、植付時期は4月下旬～5月上旬、種芋の大きさは80g、株間は20cm程度で、施肥は緩効性肥料を用いた全量基肥施肥が適当と考えられた。

4. 成果の要約

やまのいもの生産は、選抜した中首系のNo.8を用い、種芋の大きさは80gで、栽植密度は畝幅70cm、株間20cmとし、4月下旬から5月上旬に植付けすることにより、安定生産が可能と思われた。また、施肥法については、緩効性肥料を用いた全量基肥施肥により、追肥の省力化と少肥栽培が可能と思われた。

(担当者 野菜部 木村 栄)

表-1 系統別の収量、品質

栽培法	処 No.	理 収集系統の形状	芋長 cm	芋重 g	芋の形状割合			くびれの		乾物率 %	a 当り 収量 kg	総評	
					棒	バチ	平	発生数	発生株率				
露	1	短首系	平	20.3	259	95	3	3	0.68	35.0	27.6	184	○
	2	"	棒	16.6	219	95		5	0.40	17.5	29.8	155	
	3	中首系	平	26.4	214	100			0.03	2.5	29.2	152	
	4	"	棒	24.6	216	100			0	0	32.9	153	
	5	"	平	26.7	232	100			0.25	22.5	29.7	165	
	6	"	棒	25.5	216	100			0.10	10.0	30.5	153	
	7	"	平	26.1	259	100			0.13	12.5	28.0	184	
地	8	"	棒	29.9	264	100			0.33	20.0	28.4	187	◎
	9	"	平	28.4	232	100			0.03	2.5	28.8	165	○
	10	長首系	平	25.3	221	100			0	0	29.4	157	○
	11	"	棒	28.6	254	95		5	0.05	2.0	29.7	180	○

表-2 種芋の大きさと栽植密度が収量に及ぼす影響

処 種芋重 g	理 株間 cm	芋長 cm	芋重 g	芋の形状割合			くびれの		a 当り 収量 kg	芋重別割合 (%)					
				棒	バチ	平	発生数 本	発生株率 %		250g 以上	200~250	150~200	100~150	50~100	以下
20	10	18.9	113	100			0.32	8.1	161	0	0	5	40	50	5
	15	21.6	133	100			0.16	12.1	127	0	4	30	38	28	0
	20	19.4	129	100			0.05	5.0	92	1	3	12	59	25	0
40	15	21.3	158	100			0.09	9.2	151	6	15	39	32	9	0
	20	22.8	153	98	3		0.25	20.0	109	8	13	30	35	15	0
	25	22.3	145	100			0.10	10.0	87	0	17	20	40	23	0
80	20	29.9	232	100			0.38	27.5	165	42	27	20	10	2	0
	25	29.3	254	100			0.40	12.5	151	38	25	16	19	3	0
	30	28.5	258	97	4		0.12	11.9	123	54	35	12	0	0	0

表-3 植付時期と種芋の大きさが生育、収量に及ぼす影響

処 植付時期	理 種芋重 g	芋長 cm	芋重 g	芋の形状割合			くびれの		a 当り 収量 kg	萌 芽 期	芋重別割合 (%)					
				棒	バチ	平	発生数 本	発生株率 %			250g 以上	200~250	150~200	100~150	50~100	以下
4/15	20	22.2	99	98	3		0.10	7.5	71	6/12	0	3	20	25	45	8
	40	30.9	167	98	3		0.38	27.5	120	6/11	10	10	43	30	3	5
	80	33.8	235	100			0.71	32.6	168	6/10	46	28	13	10	3	0
4/26	20	19.9	104	100			0.13	7.5	75	6/19	3	3	13	39	31	13
	40	30.1	180	100			0.33	22.5	128	6/17	13	30	20	30	8	0
	80	33.6	228	97	3		0.44	28.1	163	6/15	37	40	13	5	5	0
5/6	20	22.9	182	100			0	0	87	6/22	5	5	18	31	36	5
	40	27.3	164	100			0.13	10.0	117	6/21	13	21	15	36	13	3
	80	31.1	218	98	3		0.20	15.0	156	6/19	33	33	20	13	3	0
5/17	20	19.2	137	98	3		0.05	5.0	98	6/24	0	10	30	40	18	3
	40	21.4	150	98	3		0.10	7.5	107	6/24	5	13	28	41	10	3
	80	24.6	206	100			0.03	2.5	147	6/23	11	27	41	16	5	0
5/28	20	20.9	94	100			0.21	15.7	67	7/1	0	3	11	32	37	18
	40	20.0	131	98	3		0.05	5.0	94	6/29	2	12	12	49	20	5
	80	25.4	199	95	3	3	0.23	23.2	142	6/28	18	23	43	15	3	0

表-4 生育、収量、品質

処 肥料の種類	理 施肥法	萌 芽 期	芋長 cm	芋重 g	芋の形状割合 (%)				くびれの発生		a 当り 収量 kg
					棒	バチ	平	乱	株率 %	指数	
LP140717°	全量基肥	7/5	33.7	291	26	41	30	4	70	1.5	208
ス-ハ°-IB	"	7/5	32.7	310	17	50	33	0	71	1.3	222
CDU	"	7/5	30.9	261	33	54	13	0	50	0.9	186
現地慣行		7/5	30.0	208	55	18	27	0	46	0.8	149